

令和8年度学校推薦型選抜最終選考小論文課題

東京大学教養学部教養学科

受験番号

氏名

本冊子は、指示があるまで開かないこと。

課題開始後、表紙に受験番号、氏名を必ず記入すること。

解答用紙は、両面1枚のみとする。

草稿用紙としてB4用紙2枚を使用してよい。

本冊子は、終了後に回収する。持ち帰らないこと。

本冊子

表紙 1枚

白紙 1枚

課題 3枚

東京大学教養学部



## 小論文課題（教養学科）

次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。

- (一) 傍線部①「この人間的連帯という発想には様々な批判が向けられている」とあるが、課題文で紹介されている「様々な批判」を七行以内でまとめて述べなさい。
- (二) 傍線部②「連帯という語の普遍主義的用法に対する重大な反論」とあるが、この反論や「様々な批判」をふまえて、あなたは人間的連帯という発想についてどのような考えますか。具体例を挙げながら自由に論じなさい。

### 人間的連帯の意味

連帯は様々な文脈や領域において成立する。社会の成員たちのあいだに成立する紐帯ちゆうたいが社会的連帯であった。政治的連帯は、政治的大義のもとに人々が結合し、助け合うことを意味した。市民的連帯は、市民たちが福祉国家という制度を通じて支え合うことを意味した。いずれの場合も、連帯は、特定の社会、特定の政治状況、特定の福祉制度のもとで成立するものであった。ここで取り上げられる人間的連帯は、そのような特殊な文脈を越えて成立する連帯である。人間的連帯は、国家、社会、政治集団といった特定の集団のなかで成立する連帯ではなく、人間あるいは人類という集団の内部で成立する連帯である。したがって、シヨルツが述べるように、「人間的連帯の成員であるためには、ある人が人間であるということと十分である」。

人間的連帯の構想は、連帯論の歴史において必ずしも稀有けうなものではない。その系譜には、本書で取り上げられた連帯論も含まれる。たとえば、社会的連帯論の前史という文脈で言及したルルー、政治的連帯の文脈で考察したクロポトキン、さらにはキリスト教の連帯論——神の子ゆえの人類全体への愛としての連帯——も、人間的連帯の系譜に連なるだろう。また、ここでは詳しく触れないが、「すべて、の人格の連帯性」ゆえに、「各人の万人との倫理的な共同責任」が生じると説くマックス・シエーラーの「連帯性の原理」も人間的連帯の系譜に数え入れられる。

### 人間的連帯の外的な困難

①この人間的連帯という発想には様々な批判が向けられている。たとえばローティは、人間的連帯の構想を形而上学であるとして批判した。また、連帯概念を復興しようと企てるバイヤーツやシヨルツでさえ、人間的連帯に関しては懐疑的である。二人が指摘するのは、人間的連帯が直面する外的な困難である。小規模の集団においては、たしかに人間たちのあい

だに連帯が成立する。しかし、人類の歴史が証言しているように、大きな規模では敵対や対立が人類にとつての常態ではなかったか。現在も状況は変わっていない。戦争、ジェノサイドといった現実から人間ははまだ抜け出していない。そうだとすると、人類の歴史を性格づけているのは連帯ではなく、むしろ対立あるいは分断なのではないか。そのような疑念が生じるというのである。

さらに、シヨルツは、「人間」という概念に批判的な視線を向けてもいる。人間的連帯は、人間であるというだけで成立する普遍的な連帯である。しかし、誰が「人間」と見なされるのかという問題が生じる。というのも、文化や伝統が異なれば、「人間」に数え入れるものが変わるといふ現実があるからである。女性を財産と同程度にしか見ない文化があるかもしれないし、子どもは大人に支配されて当然だとみなす文化もあるかもしれない。あるいは、ある社会集団のマイノリティは差別され抑圧されても当然だと考えられているかもしれない。これらの存在が「人間」に数え入れられない可能性が、この世界にはいまだに存在している。

人間的連帯に関するリスクは、すべての人間の道徳的尊厳を包含し、促進しようという試みそのものにおいて、誰かが排除されることになる、ということである——それが女性であれ、別のマイノリティであれ、抑圧された集団であれ。それらの集団の社会的に構築されたアイデンティティのせいと、それらの集団は、人間という地位のための基準を満たすのにどういふわけか失敗するものとして際立たせられるのである。(シヨルツからの引用)

このような「人間」からの排除の可能性が存在しているかぎり、すべての「人間」を対象とするという理由だけで、人間的連帯は普遍的で包括的であると主張することはできないことになる。かりに人間的連帯が成立したとしても、そこから数多くの人間たちが排除されることが避けがたいのであれば、人間的連帯は一種の詐称であることになる。

### 内的な困難

次に、人間的連帯は内的困難によつても阻害される。この困難が内的と呼ばれるのは、それが連帯を連帯として存在させる条件そのものに関わる困難、あるいは連帯の構造そのものに内在する困難だからである。バイヤーツは、積極的義務の負担の重さと、共感の限定性という二つの問題を挙げている。まず積極的義務の問題から見てみる。

積極的義務の問題を理解するためには、まずは積極的義務とは何かを知る必要がある。義務の分類には幾つかの種類があるが、消極的義務と積極的義務という分類が一般的である。消極的義務は、他者に危害を加えることを禁じる義務である。この義務は、危害を加えるのを控えることで実現されると一般に考えられるから、消極的義務を遂行する者の負担は小さいと言われる。また、他者がどのような他者であれ、他者に危害を加えることは禁じられると一般に考えられるから、消極的義務は普遍的であると言われている。一方で、積極的義

務は、他者の利益となるよう何かを行う義務である。積極的義務は、他者のために労力や時間や資源を提供することを要求するので、積極的義務を遂行する者たちの負担は大きくなると言われる。また、その重い負担のゆえに、積極的義務が適用される範囲は狭いと言われる。

連帯する者たちは互いに義務を負う。この義務には消極的義務も積極的義務も含まれる。消極的義務が含まれることは当然のことだろう。なぜなら、連帯する者たちも傷つけ合ってはならないからである。しかし、加害の禁止は連帯する者たちだけに妥当する義務ではない。したがって、消極的義務と連帯との関連は希薄であるという考えも成り立つ。

とすると、積極的義務の方が連帯に密着した義務として際立つことになる。分かりやすいのは政治的連帯である。(中略) 政治的連帯は、連帯する者たちに三つの義務(協力、社会批判、直接行動)を課すのであった。しかし、政治的連帯に関与しない者たちに、そのような義務が課されることはない。それゆえ、連帯が呼び起こす義務のうち積極的義務の方が、連帯に特徴的であることになる。しかし、通念によれば、積極的義務は重い負担を課すとされる。このような重い負担を伴う積極的義務は、人類全体へと拡張することが可能なのだろうか。人類全体のために重い負担を引き受ける義務は誰にもないのではないか。このような疑問から、連帯を人類全体に拡大することは困難であるという主張が導かれることになる。

バイヤーツは、もう一つの問題として共感の限定性を挙げている。バイヤーツは、デューイッド・ヒュームを援用する。ヒュームは、その『人間本性論』において、人間の関心の構造を同心円的に説明している。この関心の同心円の中心には個人が位置し、この中心から離れてゆくにつれて、関心は弱くなってゆく。ヒュームによれば、「われわれの精神の本来の成り立ちでは、最大の関心は自分自身に限られ、次いで強い関心が縁者や知人にも広げられる」が、「見知らぬ人や、関係のない人にまで及ぶのは、最低の程度の関心だけ」である。このような意味で、他者への関心、他者への愛着には、「偏り (partiality)」や「不均等」が存在する。それゆえ、「一般的に言って、個人の性質にも、能力にも、われわれ自身との関係にもよらない、単にそのものとしての人間一般への愛などという情念は、人間の精神のうちには存在しないと断言してよい」。

そうであるとしたら、人間的連帯もまた不可能であることになる。遠くの見知らぬ者たちに対して強い関心をもつことができない以上、そうした者たちと結びつき、支え合おうとする動機が生まれえないからである。したがって、もし連帯が成立するとすれば、もつと小さなスケールにおいてであろう。「人は、なんらかの共通の根拠にもとづいて、すなわち共有された歴史、共有された感情や確信や利益にもとづいて、身近な者たちと「連帯する」。このことが正しいとすれば、それは、「<sup>②</sup>連帯」という語の普遍主義的用法に対する重大な反論」であることになる。

令和8年度学校推薦型選抜最終選考小論文課題

東京大学教養学部学際科学科

受験番号 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_

本冊子は、指示があるまで開かないこと。

課題開始後、表紙に受験番号、氏名を必ず記入すること。

解答用紙は、両面1枚のみとする。

本冊子は、終了後に回収する。持ち帰らないこと。

本冊子

表紙 1枚

白紙 1枚

課題 5枚

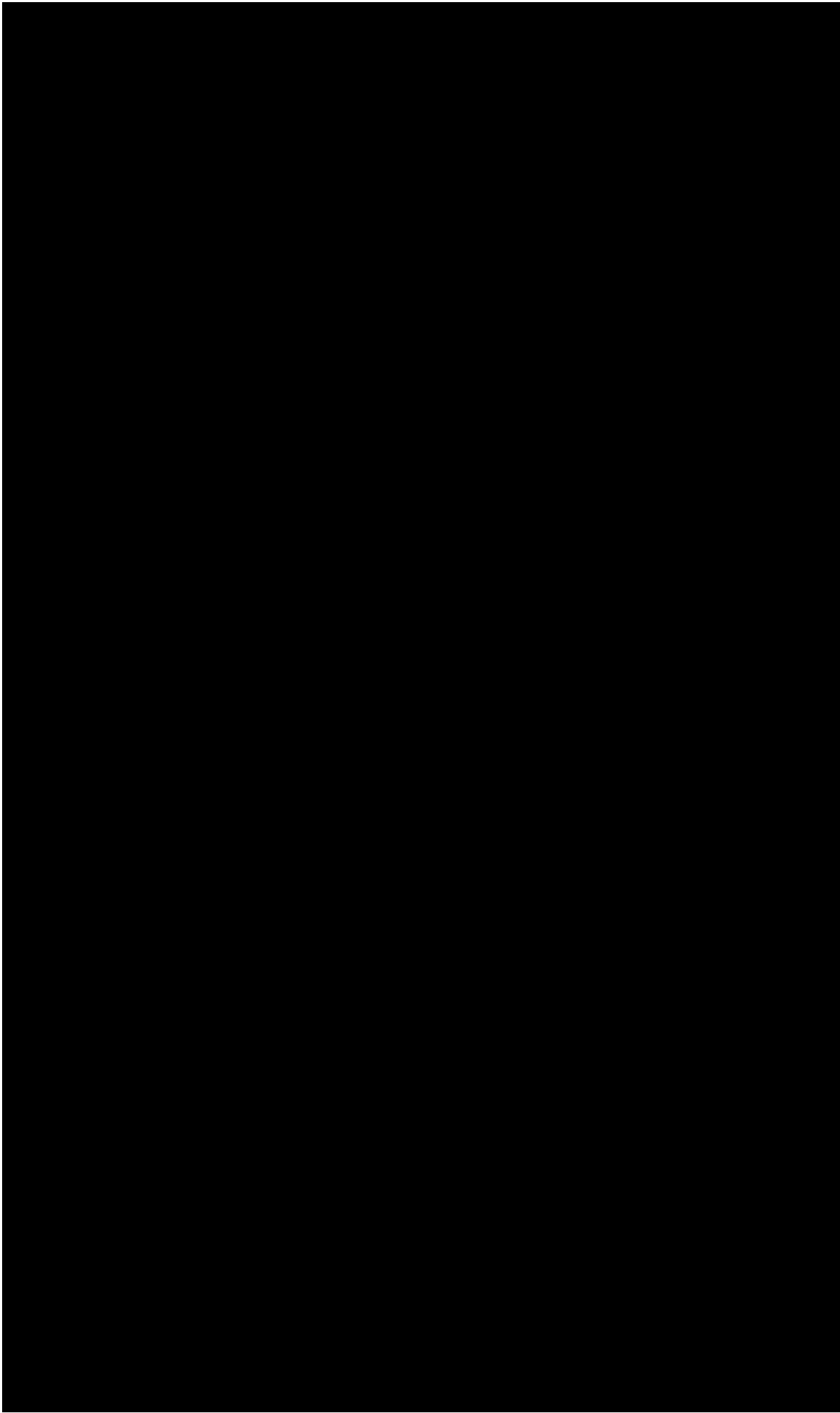
東京大学教養学部

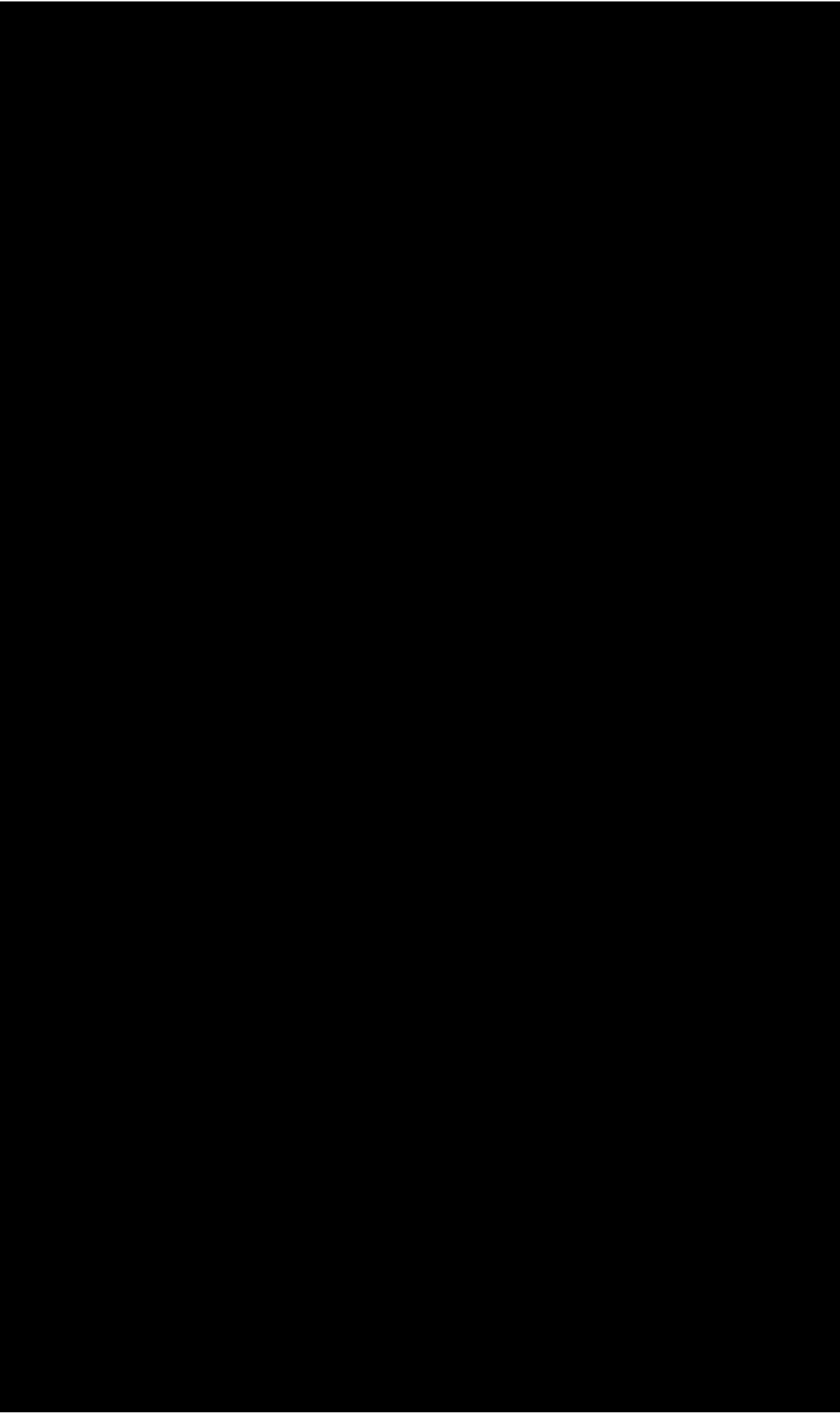


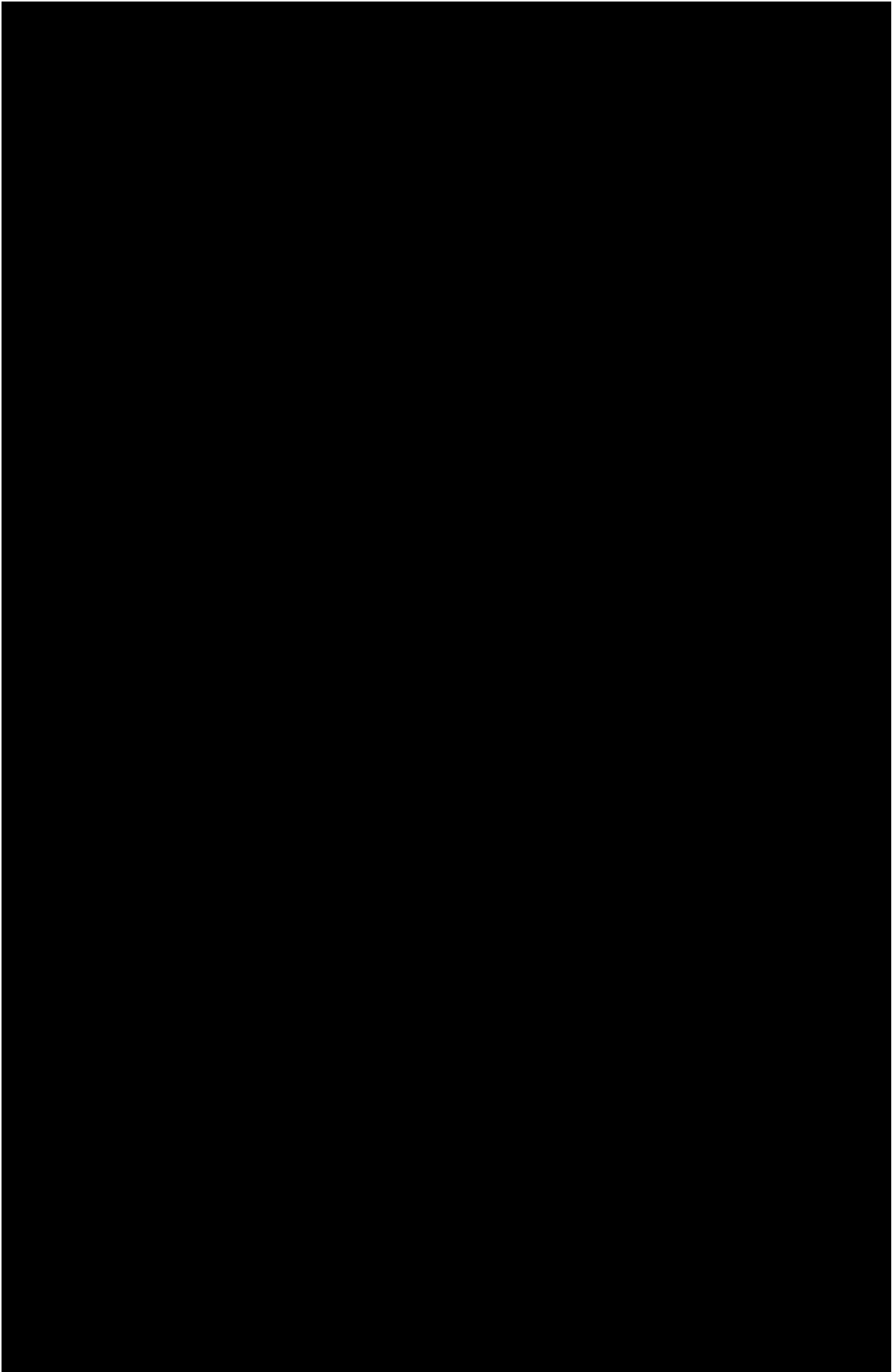
## 小論文課題

「災害時の人間の心理」に関する、以下の文章を読み、問題に答えなさい。

著作権の都合上削除







出典：邑本俊亮（2020）災害時の人間の心理，消防防災の科学 No.139 を抜粋・改変



令和 8 年度学校推薦型選抜最終選考小論文課題

東京大学教養学部統合自然科学科

受験番号 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_

本冊子は、指示があるまで開かないこと。

課題開始後、表紙に受験番号、氏名を必ず記入すること。

解答用紙は、両面 1 枚のみとする。

本冊子は、終了後に回収する。持ち帰らないこと。

本冊子

表紙 1 枚

白紙 1 枚

課題 1 枚

東京大学教養学部



## 小論文課題

### 第1問

生物と生物でないもの（非生物）との違いはどこにあるだろうか。①生物と非生物にみられる構造について、また②現象としての生物と非生物について、具体例を複数挙げ、共通点と差異を論ぜよ。物質面からみた特徴、エネルギー面からみた特徴についても触れること。

### 第2問

ある仮想的な地球以外の惑星を自由に探索できたと仮定する。この惑星には一見すると生物らしきものは見当たらない。第1問への回答を踏まえ、この惑星に生物が存在するかを探るには、何をいかに測定すべきだろうか。具体的な測定手法もしくは測定原理を説明し、生物の存在を探るための実験計画をたてよ。その際に、この惑星の生物に地球上の生物と類似している点がある場合と、全くそれとは異なっている場合を想定し、それぞれについて答えること。

以上